



移住者名	Mantas Jakelaitis (マンタス ヤケレイティス)
都道府県	東京都
移住先	リトアニア共和国カウナス市⇒八丈島
移住年	2018年
職業	博物館ガイド ⇒ 国際交流員
家族構成	本人・妻
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

大学を卒業してからは、リトアニアにある杉原千畝博物館等3つの仕事を掛け持ちしながら、現地の日本大使館の協力をしていました。

なんとなくもう引っ越しをしようかなと考えているときに、ちょうどリトアニアでJETプログラム参加者(国際交流員)の募集が初めて行われることになりました。八丈島を初めて知ったときは、なんて遠いところだろうと驚いたものの、日本は北海道・本州・四国・九州だけでないことが分かり、八丈島に興味を沸き、申し込みました。そして合格できたので、引っ越すことになりました。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

私は、大阪に1年間の留学経験もあったので、特に何も不安に思ったことはありませんでしたが、妻は、海外に住むのが初めてなのでいろいろと不安があったようです。八丈島は蛇が出るか、魚以外の食べ物があるか、仕事はどうしよう、なにをして過ごそう、など。

好きだった場所、家族、友達をすべて置き去りにして、愛する故郷と初めて離れることは、また会えると分かっているつもりでもやはり考えるだけでも不安になり、なかなか決心もつきづらかったようです。

Q. 移住して良かったことは？

人生を一つの大きな冒険だと考え、多様な経験・体験を試みないと人生の終わりが来た時にきっと後悔する、という風に思っているので、移住して最も良かったことは「移住した」というその経験です。来島してから様々な島民生活を味わうことができ、日々うれしく思っています。

緑の多いリトアニアと日本全体を比べると、木々の多さなど、自然環境は少し違うかもしれませんが、八丈島では森や林、花がたくさんあるため、時々リトアニアにいるように感じます。但し、リトアニアには山がないので、目を見上げるとすぐに八丈島にいることがわかります(笑)。そのほか、八丈島は人口を見るとそこまで大きいところではないと思ってしまいますが、実は面積はかなり広く、毎回毎回違うことができます。そして、島民の方々は、みんな優しいので、何かあると手伝ってくれたり、話し合ったりして、八丈島の生活を楽しんでいます。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

挑戦しましょう。

もし元気がなく、つまらない仕事に囲まれただけの生活をしているのなら、是非八丈島への移住を検討してください。

なぜかという、日々の安定した生活から一歩踏み出すと人生を変えることができるからです。不安に思うのは仕方ありませんが、その代わりに、先の分からない未来に向かうこと、新たな友達をつくること、この世界の綺麗なところに気付くこと、自然を楽しむことが、移住によってできるようになるのです。

もちろん、幼い子供がいないと引っ越しはしやすいとは思いますが、子供が生まれても移住ができないわけではありません。